

# かしま 議会だより

## 第116号

令和5年12月定例会号

令和6年2月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



光り輝くイルミネーション(空の広場)

12月定例会	P2～P3
議案審議	P4
一般質問(10名)	P5～P10
総務建設環境委員会審査報告	P10
総務建設環境委員会行政視察報告	P11
文教厚生産業委員会行政視察報告	P12
地域交通まちづくり特別委員会行政視察報告	P13
議会あれこれ/議長交際費	P14



鹿島市のホームページもご覧ください。

鹿島市議会

検索



鹿島市消防出初め式(1月6日)

18日・休会(議案整理)  
 19日・休会(議案整理)  
 20日・委員会報告、議案審議  
 ・質疑、討論、採決  
 ・閉会

【12月】  
 1日・休会(議案研究)  
 (一般質問 発言内容通告締切)  
 2日・休会  
 3日・休会  
 4日・休会(議案研究)  
 5日・休会(議案研究)  
 6日・議案審議、質疑、討論、採決  
 7日・議案審議、質疑、討論、採決  
 8日・休会(議案整理)  
 9日・休会  
 10日・休会  
 11日・総務建設環境委員会(議案)  
 12日・休会(議案整理)  
 13日・一般質問(4名)  
 14日・一般質問(3名)  
 15日・一般質問(3名)  
 16日・休会  
 17日・休会

鹿島市議会  
 令和5年12月定例会 会期日程  
 1、会期  
 自 令和5年11月30日  
 至 令和5年12月20日  
 2、日程  
 【11月】  
 30日・開会  
 ・会議録署名議員の指名  
 ・会期の決定  
 ・議案の一括上程  
 (市長の提案理由説明)

# 次のことを審議し決定しました

【令和5年12月定例会】

議案番号	議案内容	釘尾勢津子	宮崎幸宏	笠継健吾	中村日出代	池田廣志	杉原元博	樋口作二	中村一堯	松田義太	勝屋弘貞	角田一美	伊東茂	福井正	松尾征子	中村和典	徳村博紀	採決結果	
議案第47号	鹿島市下水道事業審議会条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第48号	鹿島市空家等の適正管理及び活用の促進に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第49号	鹿島市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第50号	鹿島市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第51号	市長及び副市長の諸給与条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第52号	教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第53号	鹿島市議会議員の議員報酬並びに費用弁償等支給条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第54号	鹿島市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第55号	令和5年度鹿島市一般会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第56号	令和5年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第57号	令和5年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第58号	令和5年度鹿島市給与管理特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第59号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第60号	鹿島市生涯学習センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第61号	鹿島市民図書館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第62号	鹿島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第63号	令和5年度鹿島市一般会計補正予算(第5号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第64号	鹿島市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	同意

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席

議案 審議

議案第59号  
辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について



角田 一美議員

質問一 2期計画の平成30年度完成からすると8年間の遅れ。バス路線が廃止され早期完成を切望されている。残区間はど

の位か。難工事が想定されるが3年で大丈夫か。  
答弁 用地買収の難航、硬質岩石出現、資材費等の高騰、残土処分地の変更で工期延長、工事費の増額が必要になった。残工事延長は、450m。残工事進捗率73%、3年間で完工予定。

質問二 用地買収及び保安林指定解除の状況は。安林指定解除の状況は。  
答弁 用地は取得完了。保安林指定解除は4箇所終了。残1箇所を申請中で来年の今頃には認可される予定で進捗に支障はない。

議案第60号  
鹿島市生涯学習センターの指定管理者の指定について



勝屋 弘貞議員

質問 指定され20年弱が経過した。公文協の提言では、全国的に似かよった問題点があるようなので、確認をお願いする。

基金の額が多いとの意見もあるが、周年事業等で日頃呼べないような企画をするためのものであり、運営に関わっている市民ボランティアのモチベーションにも繋がってくる。

市には文化振興条例がない。「サクラス」も数年後には民間の運営に移

行する予定であり、条例制定も考慮すべきでは。  
答弁 伝承芸能等、文化の奨励には今までも努めてきた。条例が必要なのかどうかは今後考える。

議案第60号  
鹿島市生涯学習センターの指定管理者の指定について



中村 和典議員

質問 指定管理者の運営実績については、毎年実績報告書が提出されているが、新たな次の更新に当たっては、5年間の評価や検証をどのように行っているのか。

答弁 本財団については4度目の更新となり運営費・維持管理費・事業費等について、新たな視点での評価や検証が必要である。

これまで出された市の監査委員の意見書や財団からの要望書のモニタリングや利用者の声などを取り入れたガイドラインを策定するなど新たな方向性を検討していく。

議案第63号  
令和5年度鹿島市一般会計補正予算(第5号)について



伊東 茂議員

質問 昨今の物価高騰対策として地方創生臨時交付金が約2億7千300万円、本市に交付されることとなった。これは住

民税非課税世帯に対し、生活支援給付金として市内2700世帯に7万円の給付を来年1月より実施する議案だが、住民税非課税世帯以外にも厳しい家計で生活している世帯は多い。

答弁 住民税非課税世帯への給付は国の方針である。鹿島市は物価高騰対策事業として商品券の配布を予定している。国庫補助金にふるさと納税基金7900万円を繰り入れ全市民へ一律3000円分の応援券を来年2月中旬より配布予定である。

一般質問に10人が登壇しました

一般質問のYouTube動画配信!

12月13日、14日、15日に行われた一般質問のYouTube動画を観ることができます。

[12月13日]



福井 正 議員  
松尾 征子 議員  
釘尾勢津子 議員  
杉原 元博 議員

[12月14日]



中村日出代 議員  
笠継 健吾 議員  
樋口 作二 議員

[12月15日]



伊東 茂 議員  
松田 義太 議員  
池田 廣志 議員

鹿島市のDXの取り組みについて



福井 正議員

これからの鹿島市の政策について

質問 鹿島市ではDX推進に取り組んでいるが、DXを使ってどのような市にしたいのか。職員の理解が進んでいるのか。市民生活向上に繋がるのか。予算はどうするのか。宮崎県都農町ではDXについてデジタルに不慣れた高齢者などに若者を活用した支援に取り組みされている。鹿島市の取り組みは。

答弁 全職員に専門家による研修を行っており、理解が進んでいる。市民生活や、産業、医療も遠隔診療等により良い効果がある。高齢者などの支援は市職員やDX研究会などと協力して取り組みねばならない。

鹿島市の企業誘致について

質問 鹿島市の工業団地は売り切れている。中国の経済情勢で日本やベトナム等に移転する企業がある。鹿島にとっても企業誘致のチャンスであると思う。ただ工業団地整備の計画はあるのか。

答弁 整備計画はある。企業誘致は、人口減少対策として必要と考える。若者の雇用の場確保のためにも整備が必要と考える。財政のことや地場産業や県からのアドバイスを受け整備したい。

鹿島市の公共交通について

質問 福岡県宇美町では公共交通の取り組みとしてオンデマンドバスに取り組みされている。人口約3万8千人、面

積38km、国道3号線がある。住民の便利な交通手段としてAIを活用したデマンドバスに取り組みされている。デマンドバスは3台運行、電話やメールで予約、利用者近くのバス停(バス停は多数ある)で乗降する。運行はAIの指示に従う。乗りたいときに行きたい場所に行ける大変便利な交通と思う。鹿島市でも参考にされたらどうか。  
答弁 市職員も宇美町に視察に行ったことがあり、状況は理解している。大変便利な交通だと理解している。



松尾 征子 議員

### 市営住宅空き室管理について

**質問一** 市営住宅の入居率87%。空住宅や庭等の管理を班長や近隣住民の人でやってもらっている。特に高齢者で単身の入居者が多い西峰住宅の管理はどのようなになっているのか。

**答弁** 空家住宅等計画に基づいて建物等の管理、点検をして故障等確認されたら修理等をして快適な生活環境の提供に努めている。

**質問二** 西峰住宅は環境美化のため空住宅、庭等の草刈りや掃除に取り組みられている。しかし、充分には手が届かない。退去された後等、何年も庭いっぱいに草木がおおいかぶさり、ゴミが山積みしている所がある。

**空家、空地については** 市が管理すべきだが、市はどのようにしているのか。

**答弁** 西峰住宅は草木がおおっていることを確認している。市の方で伐採、除草等させて頂きたい。

**質問三** 結果として今まで管理されていなかった。緊急に見回って、近隣の住民ともお願いして、市の方で取り組みたいとのことだが、管理については市の方で責任をもつてやると言う約束を。

**答弁** 当然市がやっているものと考えている。

### オスプレイ配備反対

**質問** 山口知事は佐賀空港にオスプレイの配備を容認、多くの県民が佐賀空港配備反対の運動を続けている。

十一月二十九日、屋久島沖にオスプレイが墜落。オスプレイは何度も墜落事故を起こしている。佐

賀空港配備になれば、当然、危険なオスプレイが有明海や鹿島市上空を飛ぶことになる。危険なオスプレイの佐賀空港配備を早く止めるよう国、県に要請すること。

**答弁** 日本が国防について厳しくなった情勢の判断。県民の安心、安全が大事だというのは同じ思い。

墜落について、県の方では防衛省に対して、詳細な情報の収集を求めている。経過を見ながら国、県に提言したい。



釘尾 勢津子 議員

### 市民の生活を守るために

### 地域防災のあり方について

**質問** 市民の防災意識を高めるために、(がんばらない減災のすすめ)地域で体験イベントアウトドア活動を通じた訓練についてどう考えるか。

**答弁** いろんなアイデアを出して、防災・減災につながることは大事だと思う。

キャンプ体験を通して、被災時に備えるというアイデアも一つの方法である。来年一月に鹿島・太良広域連携SDGs推進協議会主催の鹿島・太良の小学生を対象としたジュニア防災塾が計画されており、段ボールを使った避難所の設置体験等が実施される予定である。

このような色々な工夫をして防災訓練をするこ

とは良いことなので、今後の防災訓練を計画する際の参考にさせていたかどうか。

### 地域公共交通について

**質問** 現状の地域公共交通は住民のニーズに対して十分になっていないように思える。

**答弁** 市内循環バスが通らない地域や路線バスの減便地域、中山間地域等路線変更、延長は出来ないか。また自家用有償旅客運送の導入の考えはないか。

**答弁** 市内循環バスに限らず、高津原乗合タクシー、各地区の予約型乗合タクシーについても、皆さんからのご意見を元に、必要に応じて運行時刻やバス停、運行区域など常に見直しをして、より良い公共交通網になるように取り組んでいる。



市内循環バス

皆様からの貴重なご意見として承っておきたいと思う。

自家用有償旅客運送の導入については、将来、市内のバス・タクシー事業者が市内の公共交通網を維持できなくなるようなことがあれば導入の可能性はあるが、市内をバス・タクシー事業者がカバーしている現在は難しいと考える。



杉原 元博 議員

### 鹿島市の「移住・定住対策」について

**質問一** これまでの移住者数の実績は。

**答弁** 平成26年から今年度までの10年間で48世帯91人の方が移住されている。

**質問二** 移住者の目的、鹿島市にどんな魅力を感じておられるのか。

**答弁** 豊かな自然環境や温暖な気候での田舎暮らしに魅力を感じておられ、肥前浜宿などでの起業やショップの開店、酒蔵への就職や農業への就業など仕事目的の方もおられる。

**質問三** 移住相談について聞く。

**答弁** 県と合同で、平成30年から今年まで12回(内オンライン2回)開催。73人が相談され、移住を希望されている方は約半数。

**質問四** 地域おこし協力隊の活用と今後の移住定

**住対策について聞く。**

**答弁** 移住者を増やす事を目的に、鹿島市に移住し活動する協力隊2名を採用する計画。情報発信の強化や就労、住居、子育て、生活環境等具体的な生活イメージを共有できるようにコーディネートやマッチングを行っている。

### 鹿島市の観光戦略について

**質問一** コロナ禍からの観光振興と再興について聞く。

**答弁** コロナ禍前の約7〜8割程の回復状況。11月に開設されたKATAラボとも連携を強化し、観光施設をエリア全体の面にとらえ、国内外へ魅力発信し、更なる誘客に繋げる。

**質問二** 観光面での周辺市町との連携を聞く。

**答弁** 肥前路南西部広域観光協議会や環有明観光連合等で連携した取り組みを行っている。

**質問三** 駅前開発をどう観光戦略に結び付けていくのか。

**答弁** スロートリズムの展開を組み入れ、地域の魅力発掘、磨き上げ、効果的な情報発信を行っている。

**質問四** 鹿島市内は宿泊施設が少ない。今後の宿泊施設についての考えは。

**答弁** ビジネスホテル等の誘致の可能性を研究しながらも、地域を堪能できる小規模な宿(古民家活用)など、その可能性を研究していきたい。



中村 日出代 議員

### 鹿島駅周辺整備計画について

**質問一** 地方自治法の改正で国、県、市をあくまでも対等な関係と位置づけ、県の市に対する関与をできるだけ排除されると定められた。

市の資料で令和4年9月県議会において「肥前鹿島駅エリア空間デザインプロデュース事業費」を補正予算として計上され可決。県の予算で可決した県の事業がなぜ鹿島市の事業になるのか。

**答弁** 全体的な地域の将来の発展のために県が行っている。

**質問二** 佐賀県の事業がなぜ鹿島市の事業になるのかと質問している。

**答弁** 県議会の予算で計画づくりをしている。鹿島市の具体的な計画に落とし込んでいく基礎的な段階の計画になっている。

**質問三** 令和4年6月の市の資料に鹿島市の都市

計画がある。ここに県決定、市決定とあるが誰が決定したのか。

**答弁** 今後の決定ということで掲載した。配慮が足りなかった。

**質問四** 市長から今議会初めて公の場で市民我々議会に県が主体として進めていると発言があった。

県のエリアプロデュース業務は県議会が決定した業務で、鹿島市議会が議決した業務ではないが、今後県主体で計画を進めていくのか。

国の運用指針では、都市計画の決定に当たっては市が中心的な主体となるべきと示されているが、

**答弁** 都市計画を決定する準備である。

**質問五** 令和元年11月、東部中学校の仮校舎の交付金5,567万円の返還があった。

国、県も認可していたが会計検査院が「不当」と決定したら全部返還されなければならない。工費は25億円から30億円くらいかかる。出来上がった後に会計検査院の検査がある。30億円として半分は国から交付金が出る。最後に会計検査院の検査があることを見越した計画を作る。

これから計画を作るに当たりどの様に進めていくのか。

**答弁** 市の広場の基本設計変更、調整が必要である。来年度を目指してやっていく。



笠継 健吾 議員

### 県立大学の件と、自然を 活かした観光戦略について

#### 県立大学設置について

**質問一** 昨年十二月に県立大学設置の表明がなされ、一年経過した。その間、鹿島市に何か伝えられたことがあるか。市長の思いはどうか。

**答弁** 県より、個別に話があったことはない。鹿島市長として当初の要望時と同様、鹿島市への設置を強く望んでいる。

#### 中木庭ダム周辺の桜とあじさいについて

**質問一** 中木庭ダム周辺は県内屈指の湖畔公園となり得る場所だが、周辺の桜の花が咲かない。平成30年にも同様の質問があつている。原因は何か。

**答弁** 樹木師に確認し、場所・土壌に問題無く樹木の遺伝子特性が咲かない要因とのこと。

**質問二** この桜の木は植替えないと咲かないと思われる。植樹は地域でできる。咲かない木は大きく、処分は行政の協力が要だ。桜の木は平成18年頃の小学生の卒業記念植樹であり、咲く花を思つての植樹であろう。その実現と、観光スポットとして早期に行動したい。市の協力はどうか。

**答弁** この桜は小学生の卒業記念植樹として植えられており、他関係者の承諾を必要とする。そこが解決すれば市としても協力したい。

**質問三** 毎年6月に能古見地区振興会主催であじさい祭りが開催されている。開催当初平成27年頃は見事なあじさいの花が咲き誇った。この頃は、七千本以上となり、手入れが届かず花の色があせたり、咲かなかったりしている。観光地として行政での管理はできないか。

**答弁** 維持管理の業務委託に関する覚書に基づき、地元で優先的に委託している。管理の方法を検討して対応してもらいたい。

**質問四** 中木庭ダム周辺を市長はどう思うか。

**答弁** 中木庭ダム周辺は、自然の大事な観光資源と捉えている。能古見地区振興会とも話してみたい。



樋口 作二 議員

### SDGs 未来都市鹿島の食について

#### 食の安全保障について

**質問一** 米作り農家の世代別年齢はどのようになっているのか。

**答弁** 現在鹿島市民の需要を上回る生産ができていないが、60歳以上が81%であり、高齢化と担い手不足が進んでいる。

#### 小麦の生産と流通はどのようになっているのか。

**質問二** 小麦の生産と流通はどのようになっているのか。

**答弁** 全国的な生産量は流通量の15%しかないが、佐賀県は全国3位の生産量で、鹿島市でも二条大麦を上回る小麦を生産し、過半数が関東へ移出されている。

**質問三** 今後、国はどのように有機農業を推進していくつもりなのか。

**答弁** 国は令和3年にみどりの食料システム戦略を制定し、2050年までに全農地の25%を有機農地にする計画である。

アイガモ米



伊東 茂 議員

### 市内循環バスを AIオンデマンドバスへの導入提案

**質問** 特別委員会で視察した福岡県宇美町は福祉巡回バスからAI活用型オンデマンドバスに変更された。従来の循環バスとの違いは運行経路が市内の乗降場所区域内ならどこでも自由に運行可能ルートでの生成は行き先を予約すればAIが自動に最短ルートを作る。時刻表は無く、朝8時30分から夕方6時30分まで運行予約は一週間前から乗車直前までスマホ、電話で予約。料金は200円、ICカード・現金・クレジットカード使用可能。バスの停留所は路線バスの停車場の他に公民館前、学校前、病院前など20ヶ所以上設置され地元タクシー会社に運行を依頼している。廃止路線地区や山間部も運行が出来る。

**質問** 特別委員会で視察した福岡県宇美町は福祉巡回バスからAI活用型オンデマンドバスに変更された。従来の循環バスとの違いは運行経路が市内の乗降場所区域内ならどこでも自由に運行可能ルートでの生成は行き先を予約すればAIが自動に最短ルートを作る。時刻表は無く、朝8時30分から夕方6時30分まで運行予約は一週間前から乗車直前までスマホ、電話で予約。料金は200円、ICカード・現金・クレジットカード使用可能。バスの停留所は路線バスの停車場の他に公民館前、学校前、病院前など20ヶ所以上設置され地元タクシー会社に運行を依頼している。廃止路線地区や山間部も運行が出来る。

**質問** 本市のバス会社、タクシー会社、鹿島市と共同研究し、未来型の循環バスの導入を要望する。

**答弁** 本市の職員を宇美町へ派遣し、調査を行った。AIによる配車システムは有効と考え地域公共交通活性化協議会に諮り検討する。

#### 人口減少対策の主要施策として

**質問** 鹿島市は令和元年から年間出生者数が減少し、令和4年は151人と少子化が加速化している。危機感を高め対策が急務である。子育て世代から要望の強い、給食費の無償化を本市の財源確保も考慮し、小学6年生と中学3年生に絞り、実施を始めることを要望する。

**答弁** 昨年から高校生まで

での医療費無償化を実現し、子育て支援は拡充をしている。物価高騰の中でも保護者の負担軽減を考え、給食費は来年度も値上げはしない方針である。

#### 東部中への通学道路の安全性確保

**質問** 浜大橋から野島方面へ入り、東部中へ向かう市道27号古場切・浜漁港線の道路は狭く側溝に蓋が無く、これまで幾度となく高齢者や自転車通学の生徒が落ち怪我をしている。歩車道分離の白線は薄れ、カラー塗装も消えている。

**答弁** 早急な安全対策の実施を要望する。危険性が高い現場であると確認した。早急に対応する。



松田 義太 議員

### 鹿島市が直面する 政策課題について

#### 令和6年度予算編成に向けて

**質問一** 新年度予算に向けて、最優先課題を挙げるとすれば何か。

**答弁** 鹿島市第7次総合計画を中心にDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進、脱炭素社会の取り組み等を具体的に推進する。

#### 物価や燃料等の高騰、人材不足、物流・運送業の2024年問題

**質問二** 物価や燃料等の高騰、人材不足、物流・運送業の2024年問題など、今後の地元経済は厳しさが増していく。市内経済の下支えとして、投資的経費（公共事業等）の一般財源約4億円の確保、そして国・県の様々な補助、起債の活用により約10億円以上の事業に取り組んでもらいたい。

**答弁** この10年間、市民文化ホール、新世紀セン

ター、干潟交流館等大型事業が続いてきた。今後、この事業費ベースで進むと財政的に厳しい状況になる。

#### 人口減少対策について

**質問** 移住・定住対策については、庁内各課、地域、これまでの移住者等、それぞれの連携が重要である。

**答弁** 関係機関との連携、紙やデジタル等それぞれの特徴を活かし、発信し、

若い人から高齢の方まで情報が行き渡ること、多くの方の力を借りながら、鹿島市を高めたい。

#### 有明海再生の取り組みについて

**質問** 近年、有明海のノリ養殖業については、赤潮被害、栄養塩不足による色落ちにより、かつて経験したことがない不作になり、漁業者は経営の危機に直面している。

**答弁** 漁業者の声を大切にしながら様々な対策を検討したい。



有明海の手付養殖

## 【総務建設環境委員会行政視察報告】

### ●日程

令和5年10月31日～11月2日

### ●総務建設環境委員会

委員長 池田廣志 副委員長 杉原元博

委員 宮崎幸宏 樋口作二 松田義太 勝屋弘貞 福井 正 中村和典

### 1 広島県三原市(10/31)

#### 【移住・定住の取り組みについて】

三原市は瀬戸内海のほぼ中央に位置し、近畿と九州を結び、四国とも連絡する海上交通の要衝として発展してきたが、平成11年に瀬戸内しまなみ海道が整備され、交通体系が大きく変わり、三原市から撤退する大企業が続出し、人口減少が続き、その対策として、移住・定住対策を実施し、移住無関心層、移住関心層、移住検討層、移住達成層毎に支援金等を給付している。また、2007年に駅前の大型商業施設が閉館し、駅周辺に空き店舗が増加し、中心市街地の衰退が進んだので、民間活力導入で市立中央図書館、ホテル、スーパー、駐車場を整備し、多くの市民と学生が利用し、賑わいを取り戻している。



### 2 広島県竹原市(11/1)

#### 【伝統的建造物群保存地区を生かしたまちづくりについて】

竹原市は人口23,207人、12,016世帯、面積118.23km<sup>2</sup>の市で、瀬戸内海に面した市で、江戸時代から入浜式塩田が整備され、「竹原塩」として、全国に船で輸送されていた。その時代に整備された建物が「竹原地区伝統的建造物群保存地区」に指定され、江戸時代から昭和初期までの建物が調和し、本瓦葺きと灰色漆喰が織りなす重厚感があり、「たけはら竹まつり」「たけはら町並み雛めぐり」「町並み竹灯り～たけはら憧憬の路」のイベントが高い評価を得ている。



### 3 広島県広島市の「広島市豪雨災害伝承館」(11/2)

#### 【施設の概要と視察の成果】

平成26年8月20日の大雨で、死者77名、住家の全壊179棟、道路・河川など1,079件が発生した。この災害を受け、防災・減災の想いを次世代に語り継ぐための施設である。



池田 廣志 議員

## 鹿島市を活性化するための 取り組みについて

**質問一** 人口減少問題を、このままにしておくとの活気が失われる。若者の新たな職場づくりとして、秋田県にかほ市との姉妹都市交流を進め、将来の企業誘致に繋げるべきと思うが。

**答弁** 他の都市との交流には、時間をかけて取り組んで来たが、にかほ市との姉妹都市提携については、職員同士での話し合いを行っている。また、にかほ市長と会って、直接、自分の思いを伝えたい。

**質問二** 市内の企業情報展示コーナー新設の進捗状況を問う。

**答弁** 市内企業情報の伝達は、大切な取り組みなので、高校一年生を加え、二年と保護者向けの企業説明会を行う。市庁舎一階のモニター画面でも企業情報を同時期に放映する。

**質問三** 「エイブル」の壁面の汚れと新築された「サクラス」の障害者用駐車場の危険な斜面に整備されているが。

**答弁** 「エイブル」壁面の汚れは、六年度に工事する。「サクラス」の障害者用駐車場の危険な斜面に整備されているが、有明海や多良岳山系の眺望が素晴らしいので、今後の利活用に伴って整備する。

**質問四** 観光スポットである「道の駅鹿島」を、さらに、活性化させるための取り組みは。

**答弁** 「道の駅鹿島」は、自然豊かな有明海の魅力の発信地として、多くの期待が寄せられているので、「干潟展望館」「干菜市」「干潟交流館・なな海」の施設を生かしながら、新たな道の駅として、より活性化するように、地元と協議する。

**質問五** 鹿島市を災害から守るために、職員の力強い取り組みを。

**答弁** 防災担当者の防災知識の向上に努めているが、民間で開催される防災の研修会にも参加し、防災情報の共有に努める。

**質問六** 議員が提案する質問や提案などの諸課題を整理し、調整する役目を副市長が務めるべきと思うが。

**答弁** 鹿島市を活性化するために前向きに、県内外の情報収集に課一丸となつて努めると共に、関係者との利害を調整しながら、実施可能なものは事業化に向け、緊張感を持って取り組む。

## 【議案第47号 総務建設環境委員会審査報告】

令和5年12月7日の本会議において、総務建設環境委員会に付託された「議案第47号鹿島市下水道事業審議会条例の制定について」は、12月11日に委員会を開き、採決の結果、起立全員で可決された。

### (執行部からの説明要旨)

下水道事業の健全経営と適正かつ効率的な運営を行っていくために審議会を設置し、汚水に係る下水道事業は、使用者の使用料で経営を行う独立採算制をとっているが、経費回収率が61.5%と低く、今後、人口減少が控える中で、使用料の適正化・汚水処理費の削減が課題となる。そこで専門的な意見や市民の視点から広く意見を求め、審議を行うことの出来る審議会を設置するもので、条例は令和5年12月22日から施行する。

### (主な質疑応答内容)

審議会での審議内容は、下水道使用料が改定となった時に、住民の理解を得るための周知方法と厳しい経済状況なので、段階的な値上げが出来ないかとの委員からの質疑に対し、執行部からは、一般家庭及び事業者への影響を考慮し、周知期間の設定と段階的な値上げについては、審議会に諮って慎重に審議したいとの答弁があった。また、接続率が上がれば、料金改定は必要ないのかとの委員からの質疑に対し、執行部からは、汚水処理原価が約241円で、一般家庭の小口使用料単価が135円という現状なので、接続率が上がっても現在の下水道使用料金では、汚水処理費用を賄うのは難しいとの答弁があった。さらに、鹿島市全体の雨水対策と門前地区と浜の酒蔵通りの今後の取り組みはとの委員からの質問に対し、執行部の答弁は、雨水対策として、市内にある6箇所のポンプ場を整備し、市民の生命と財産を守るという目的で、改修計画を立てて、審議会の中で、費用の平準化を図りたい。また、門前地区は、令和8年度までに用途を立てたいが、浜の酒蔵通りは、観光地として整備すべきと思うが、高齢化や負担金の問題があるため、地元と十分協議したいとの答弁があった。

## 【地域交通まちづくり特別委員会行政視察報告】

### ●日程

令和5年11月8日～10日

### ●地域交通まちづくり特別委員会

委員長 伊東 茂 副委員長 宮崎幸宏

委員 笠継健吾 杉原元博 松田義太 福井 正 松尾征子 徳村博紀

視察日	調査事項【目的】	視察先【対応者】
11/8 (水)	「AI活用型オンデマンドバスのーと」 【地域公共交通サービス】	福岡県粕屋郡宇美町(乗車体験) 【ネクスト・モビリティ(株)】
	内容 ・公共交通空白地域の解消のための持続可能な新しい公共交通サービス ・顧客の利便性と運行の効率性を両立するAI活用型オンデマンドバス	
	「九州横断自動車道延岡線(五ヶ瀬高千穂道路)」 【高速道路整備】	宮崎県西臼杵郡高千穂町(建設現場見学) 【国土交通省九州地方整備局延岡河川国道事務所】
内容	・防災機能の向上、救急医療アクセスの向上、広域の観光振興等の整備効果 ・九州山地を横断する構造物(トンネル、橋梁等)が多い大規模公共事業	
11/9 (木)	「都農町デジタル・フレンドリー」 【DX(デジタル・トランスフォーメーション)推進】	宮崎県児湯郡都農町(研修) 【都農町議会、都農町まちづくり課、つの未来財団】
	内容 ・デジタル・フレンドリー事業の4施策(町内全域に光回線整備、希望全世界にタブレット配布、行政と町民の双方向型ポータルサイトの開設、若者による高齢者へのデジタル活用サポート) ・デジタル田園都市国家構想交付金によるヘルスケアサービス等事業	
	「宮崎県の高速度道路整備活動」 【高速道路整備】	宮崎県宮崎市(研修) 【宮崎県高速道対策局】
内容	・東九州道及び九州中央道の早期整備に向けた要望活動(建設促進大会の開催) ・4県1市が主となり、沿線住民、経済団体、議会等が一体となった取り組み	
11/10 (金)	「企業立地優遇制度を活用した企業誘致」 【企業誘致】	宮崎県都城市(研修) 【都城市議会、都城市企業立地課】
	内容 ・インター周辺における工業団地整備 ・企業立地優遇制度(製造業等の優遇措置、都市再生整備計画(地方都市リノベーション))	

### ●総括

本委員会は、人口減少、少子高齢化等の社会問題を抱える鹿島市にとって、公共交通対策(地域公共交通サービス、有明海沿岸道路整備)やまちづくり(DX推進、企業誘致)が喫緊の課題と捉え、先進的かつ優良な事業や取り組みについて視察調査を実施した。

各事業等において、「地域公共交通の確保」「デジタル社会の実現」「税収及び雇用の拡大」等の効果的な成果となっており、視察した自治体においては、ふるさと納税寄付金を原資として好循環な事業を展開していた。

なお、今回の視察調査内容については、「鹿島市の政策」として研究、検討していく。



宇美町「AI活用型オンデマンドバスのーと」

## 【文教厚生産業委員会行政視察報告】

●日程 令和5年10月25日～27日

●出席者 委員長 中村日出代

委員 松尾征子 伊東 茂 角田一美 中村一堯 釘尾勢津子 徳村博紀

### 1.兵庫県加古川市(10/25)人口25万7千人、世帯数10万9千世帯

「見守りカメラ及び見守りサービス」について

加古川市は、人口千人当たりの刑法犯認知件数が2016年兵庫県内ワースト4位、2017年ワースト2位と治安状況が悪く、行方不明になる認知症高齢者の数も月に10件以上と多い。このような状況のなか、子ども達の登下校時の安全確保に対する住民ニーズが非常に高まった。このため、市はICTを活用した安全・安心まちづくり推進事業に取り組み、通学路を中心に見守りカメラを1,475台、駅周辺に高度化見守りカメラを150台設置した。更に子どもや高齢者の居場所を確認できる見守りサービスを導入している。その結果、設置前と比較して事件発生件数が4割減少する成果が見られたが、その反面維持費の課題も残っていた。



### 2.兵庫県加西市(10/26)人口4万2千人、世帯数1万8千世帯

「子育て応援5つの無料化」について

加西市は、子育て世代への支援事業を分かりやすく制度化しており、①保育料の無料化 ②給食の無料化 ③医療費の無料化 ④オムツの無料化 ⑤病児病後児保育の無料化である。事業の背景には、加西市の近隣に神戸市、姫路市等大きな都市があるので結婚適齢期の流出が多く若い世代の人口が増えない現状があった。令和3年度には出生率が0.91となり危機感を覚え、令和4年度にこれらの支援制度が整ったところで、まだ現時点では顕著な効果は認められていないと説明があった。



### 3.兵庫県楽農生活センター(10/27)兵庫県指定管理者制度によりNPO法人が運営している施設

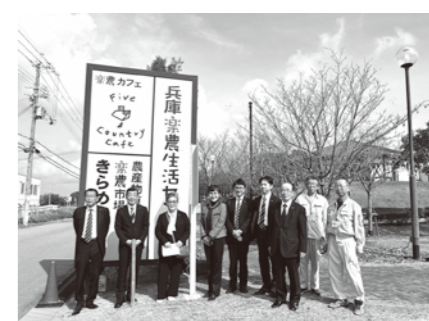
「楽農生活事業等の取り組み」について

「楽農生活」とは、農林水産体験や農山漁村との交流などを通じて、食や「農」に親しむ暮らしとして兵庫県が提唱する新しいライフスタイルであり、広大な敷地を利用して体験型施設や直売所、カフェレストラン等が開業されていた。就農コースでは、就農を目指す人達を対象に、総合的な農業知識、栽培技術、経営技術を取得する実践的な研修が行われており、同コース卒業生の70%が就農していると説明があった。

・約1年、ビニールハウス1棟、研修(実習・講義)は休園日を除く毎日、施設は4コース

・募集定員25名、受講料 180,000円/年

3日間を通して他自治体の取り組みについて参考になったので今後にかしたい。



# 議会あれこれ (令和5年10月～12月)

## 10月

- 11日 全員協議会
- 13日 佐賀県市議会議長会
- 16日 議会だより編集会議
- 20日 議会だより編集会議  
四市議会議員交流会
- 23日 有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会要望  
国道207号改良促進期成同盟会要望
- 25日 文教厚生産業委員会行政視察 (～27日)
- 26日 佐賀県西部広域環境組合10月定例会
- 30日 議会だより編集会議  
地域交通まちづくり特別委員協議会
- 31日 総務建設環境委員会行政視察 (～11月2日)

## 11月

- 1日 国道498号整備促進期成会要望
- 2日 有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会要望
- 6日 臨時議会運営委員会  
佐賀県後期高齢者医療広域連合議会代表者会
- 7日 一市二町議会議員交流会
- 8日 地域交通まちづくり特別委員会行政視察  
(～10日)  
環境未来都市特別委員会視察
- 13日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会運営委員会  
佐賀県後期高齢者医療広域連合議会  
11月定例会
- 14日 有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会要望  
議会運営委員会
- 17日 全員協議会  
総務建設環境委員協議会  
文教厚生産業委員協議会
- 20日 総務建設環境委員協議会  
文教厚生産業委員協議会
- 28日 議会運営委員会
- 30日 12月定例会 閉会 (～12月20日)  
全員協議会  
議会報告会プロジェクト会議  
臨時議会運営委員会

## 12月

- 6日 12月定例会 議案審議
- 7日 全員協議会  
12月定例会 議案審議
- 11日 総務建設環境委員会  
総務建設環境委員協議会
- 13日 12月定例会 一般質問
- 14日 12月定例会 一般質問  
臨時議会運営委員会
- 15日 12月定例会 一般質問  
文教厚生産業委員協議会
- 20日 全員協議会  
12月定例会 閉会  
全員協議会
- 21日 臨時議会運営委員会  
文教厚生産業委員協議会
- 26日 議会だより編集会議

## 行政視察受入状況 (令和5年10月～12月)

11月8日  
 滋賀県議会 厚生・産業常任委員会(12名)

## 議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	10月		11月		12月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	0	0	1	22,000	0	0	1	22,000
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	0	0	1	3,000	0	0	1	3,000
会費	1	4,000	1	4,000	2	7,400	4	15,400
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	3,630	1	630	2	4,260
合計	1	4,000	4	32,630	3	8,030	8	44,660

## 編集後記

令和6年明けましておめでとうございませう。

12月議会の一般質問は10名の議員が質問しました。

質問内容は、10月から11月にかけて、常任委員会や特別委員会の行政視察が行われ、視察研修をもとにした質問が多数ございました。その他議案審議も活発に行われ、執行部との政策論争があり、行政課題への理解が深まったと感じました。

議会だより編集を、今後令和6年3月議会まで現委員で担当いたします。しっかりと市民の皆様にご理解しやすい紙面づくりに励んでいきます。

(福井 正)

## 令和5年度 かしま議会だより編集委員会

委員長	福井 正
副委員長	池田 廣志
委員	釘尾勢津子
委員	松田 義太
顧問	中村 和典

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。